

第4期第3回横浜市子ども・子育て会議放課後部会 会議録	
日 時	令和元年9月6（金） 14時00分～15時30分
開催場所	関内駅前第二ビル 6階 6G会議室
出席者	明石要一部会長、青山鉄兵副部会長、大野功委員、熊谷浩伸委員、七海雷児委員、工藤春治委員、宮永千恵子委員、柳澤潤委員
欠席者	世古正樹委員、藤井千佳委員
開催形態	公開（傍聴者3人）
議 題	<議事> 第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画素案(案)等について
決定事項等	
<p><議題></p> <p>第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画素案(案)等について</p> <p>(事務局) 資料5・6及び別紙に基づき説明</p> <p>(大野委員) 現行計画から大きく変更した点は何ですか。</p> <p>(事務局) 現行計画では全ての小学校にキッズクラブを開設することを第一の目標に計画を策定していました。今年度末で全ての小学校にキッズクラブを設置する見込みが立ったので、第2期計画では、子どもたちの安全かつ安心な放課後の居場所としての位置づけを強化するため、質の向上を重点に置いています。</p> <p>(大野委員) 保護者が今後望むことがいくつか上がっていますが、キッズクラブや児童クラブの運営主体が運営にあたって今後望むことはないのでしょうか。</p> <p>(事務局) 人材の確保や活動場所、事務負担の軽減などの意見をいただいております。</p> <p>(熊谷委員) 基本施策2のタイトルが「より良い小学生の放課後の居場所づくり」となっていますが、この部分は、「より良い」ではなく「より豊かな」という表現のほうが合っていると思います。</p> <p>また、資料6素案（案）に基本施策とSDGsの関係が示されていますが、基本施策2の中に4の「質の高い教育をみんなに」という項目は、基本施策2の中に入れても良いと思います。</p> <p>(宮永委員) 「障害のある児童など特別な配慮を要する児童に対する支援を強化します」という文言を入れていただけて良かったです。また、人材不足でなかなか障害児の受入れにも困難さがあると聞いていますが、障害児受入推進加算補助がある旨を運営主体にしっかり周知し、活用してもらうことで人材の確保につなげて欲しいと思います。</p>	

配慮を要する子どもたちにとっても、キッズクラブや児童クラブが安全に楽しく過ごせるような場所であって欲しいと心から願っておりますので、引続き取組を進めていただければと思います。

(事務局) 障害児受入推進加算補助については、運営主体から申請に伴う事務負担が重いとの意見もいただき、今年度、活用しやすいよう運用を見直しました。児童の接し方等については、教員経験のある巡回指導員が訪問し、実際にその子どもの様子を見ながら、スタッフと話し合いながら対応をしており、このようなきめ細かい個別の対応も強化していきたいと考えています。

(熊谷委員) 別紙の「確保方策(案)の考え方」の中に、キッズクラブと児童クラブ共通の考え方として、人材確保と質の向上を追加することはできないでしょうか。

また、児童クラブに関して、既存クラブに対する支援に関して記載がないと思いますがその理由について教えてください。

(事務局) 別紙は量の見込みに対する確保方策の考え方なので、人材確保に関しては記載しておりません。人材育成・確保や質の向上は課題だと認識していますので、素案(案)の本編で記載をさせていただきました。また、既存の児童クラブに対する支援については、引続きしっかり支援をさせていただきたいと思います。

(柳澤委員) 第1期計画の全小学校にキッズクラブを開設するという目標は、極めて明快な目標設定だったと思います。第2期計画では、質の向上を重点にして施策を進めるとのことですが、キッズクラブや児童クラブにも学校と同じように特性のある子どもたちに対してそれぞれの特性に応じた対応が求められているように思います。その観点から見ると、受け皿としては、やはりそのような子ども達を受けとめる空間的なスペースや人的な配置などは当然大きな課題であると感じており、量の見込みに対する確保方策についても、次期計画では質の向上を図っていくことを明確にアピールできる記載があると良いのではないかと思います。

(工藤委員) それぞれのクラブによって状況がまた違うかと思いますが、キッズクラブの場所や場所に対応した質の向上は必要だと感じます。

(七海委員) 先ほどから人材の確保が話題になっていますが、障害児の利用申込みがあった場合、人員不足で利用を断ったケースはないのでしょうか。

(事務局) 障害児の方から利用希望があった場合は、受入れるというのが基本的な考え方です。ただし、実際は人材の確保に本当に苦慮しているという意見は運営主体からいただいて

おります。

(七海委員) 障害があることを理由に利用を断るような状況にならないためにも、引続き配慮を要する児童の把握をして欲しいと思います。

(事務局) 市では人材育成の観点から支援員の方々の研修を進めているところですが、配慮の必要な子どもへの対応に関するスキルを身に付けていただくために、障害理解などの講座も設けております。引続きそのような研修を実施し、人材の育成・確保につなげていきたいと思っております。

(青山委員) 第2期計画の中で質の向上に関わる内容を具体的にどのように進めるのかのイメージが掴みづらいのではないかと思います。予算や関係部署等との調整もあるので、どこまで第2期計画の中に書き込めるのかここで判断はできないと思いますが、具体的にどんな手法や取組みがあり得るのか、想定範囲内で構わないので、この場で少し議論できたら良いと感じています。

(事務局) スタッフの人材育成・確保や事務の効率化は、運営主体からのニーズも高いので、その点は取組みが必要かと考えています。研修の充実やクラブ間で情報交換の場を設けることなどが考えられますが、具体的な取組み内容については、予算も絡むので年度ごとに検討する必要もあると思っております。

(青山委員) 事務の効率化は重要だと感じています。また、運営主体の裁量は残しつつも、本市が目指す質の向上につながる取組については、本市が補助金を追加で交付するなどの支援があってもよいのではないかと感じます。そのためにも、何か目出しできるものがあれば「指標」や「主な事業・取組」に記載できたら良いと感じました。

(明石部会長) 第1期計画で掲げたキッズクラブの全校展開が達成できたことは大きな成果だと思います。第2期計画で掲げる質の向上については、大きく3点ほど意見を述べさせていただきます。

まず、研修についてです。スタッフの人材育成研修の受講割合を100%にするとのことですが、同時に効率的な運営方法など経営面での研修を開催すると運営主体の支援につながるのではないかと思います。また、子どもは、学校で見せる顔とキッズクラブや児童クラブで見せる顔はおそらく異なっていると思うので、放課後事業に関わるスタッフと教職員の共同研修を実施していただきたいと思っております。

2点目は、キッズクラブや児童クラブで過ごすことが子どもの育ちにどのような影響を与えたのかをフォローアップ調査できるとよいと思っております。すぐには難しいと思っておりますが中間

報告では、フォローアップ調査から取組みが質の向上につながっているのかどうか検証できるとなるとお良いと思います。

3点目は、前回の部会でも議論がありましたが、人材の確保については、運営主体だけで行うのは難しいのではないかと感じています。退職教員の活用など、市として大きな枠組みで人材確保のサポートをする仕組みを考えていただけないかと感じています。

(事務局) 本市が主体的に人材派遣や紹介を行うことは難しい面もありますが、人材確保と育成については、引き続き市でも検討したいと考えています。

(青山委員) 放課後の居場所に熟年者と若者の両方がいることが、大きな意味を持つのではないかと思います。子ども目線で考えると、高校生とか大学生の若者が関われる場が常にあるということのプラスの効果はすごく大きいと思います。

(明石部会長) 一つのアイデアですが、市内や県内にある大学等と連携し、子どもに関する事業に興味のある学生をキッズクラブ等に派遣していただくのは良いのではないかと思います。また、授業の一環として、参加した学生には単位を付与できるような仕組みができるとなお良いと感じます。

(大野委員) 質の向上の観点から申し上げますと、キッズクラブのスタッフから、紙で本市へ報告する資料がかなり多いという話を聞きます。報告書を含めて電子化を進め、事務の簡素化、効率化を図っていただきたいと思います。

(事務局) スタッフの方々には、事務の時間よりも子どもと接する時間を確保して欲しいと思っています。事務の効率化については、少しずつ改善と見直しをしているところですが、引き続き検討を進めていきたいと考えております。

(青山委員) 全国的な放課後支援の課題と言えることですが、朝から晩まで子どもが校舎の中にいることが子どもの育ちにとってベストかと言われると、なかなか難しいところがあります。子どもにとって放課後は、地域とのつながりを感じたり、学校でうまくいかない子が別の場所で別の人間関係を構築することで、学校とは違う何か評価や関係を得たりするものだと思います。校舎内で一日中子どもが過ごすことについては、その弱点を意識しておく必要があると感じています。

(熊谷委員) 素案(案)の「放課後の居場所へ今望むこと」について、ニーズ調査の結果が、キッズクラブと児童クラブのそれぞれで掲載されていますが、質の向上を考える上では、この違いが大きなヒントになると思います。

また、各区でキッズクラブと児童クラブの交流や情報交換などを図り、お互いの良いとこ

ろや悪いところを交換し合って、お互いを高め合うというものも大事だと思います。個人的には、まず学区単位で高め合うということを推進していけるような方向性に持っていかれたらなと思っています。

(事務局) 現行でも放課後3事業合同でドッジボール大会をやっていますが、事業の垣根を越えて一緒になって何かをやるというのは、とても大事なことだと思います。また、キッズクラブや児童クラブ以外にも多様な放課後の場があって、そこに子どもたちがしっかり居場所を見つけるような地域であるべきだと思います。そのためには地域との連携も重要だと考えていますので、その点についても引続き議論をしていきたいと思っています。

(明石部会長) 熊谷委員が御指摘されたデータは非常に貴重なデータだと思います。このようなデータを活用しながら、スタッフの研修も充実していただきたいと思っています。

(七海委員) ニーズ調査とは別に質に関するアンケートを実施してもらいたいと思っています。その際は保護者の要望だけが出てこないよう配慮しながら実施していただきたいと思っています。

(明石部会長) 予定した時間になりましたので、本日の議事は以上で終わりたいと思います。

以 上

資料	[議案資料] 資料5 第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の素案(案) 概要版 資料6 第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の素案(案) 別紙1 地域子ども・子育て支援事業に関する量の見込み(案)の算出及び確保方策(案)の考え方 [参考資料] 資料1 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 委員名簿 資料2 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 事務局名簿 資料3 横浜市子ども・子育て会議条例 資料4 横浜市子ども・子育て会議運営要綱
特記事項	本日の議事録は、各委員に確認していただいた後、ホームページで公開する予定です。